

いもち病に効く、「ディザルタ*」配合!



いもち病から守る!
ディザルタ®配合



高密度播種
でも使える!

今、おすすめの箱粒剤はコレ!

次世代の、いもち病防除成分「ディザルタ*」を新配合!

- 新成分「ディザルタ」が、稲体内の2つの作用点に働きかける!
- いもち病に対する強力な抵抗力が、稲体内ですばやく発動!
- 長く効く、抵抗性誘導型の新しい水稻用箱処理剤!

稲育苗箱専用 殺虫殺菌剤

レシード+プラス® 箱粒剤

*一般名ジクロベンチアゾクス ディザルタ®, ®はクミアイ化学工業(株)の登録商標 レシードプラス®は日産化学(株)の登録商標

お得な
大型規格
9kg入・18kg入
もあります!

いもち病
に強い!

+

初期害虫
を防ぐ!

+

チョウ目害虫
を防ぐ!

+

イナゴ類
を防ぐ!

+

は種前~
移植当日
で使える!

レシード+プラス[®] 箱粒剤

農林水産省登録：第24570号
有効成分：テトラニプロール……………1.5%
ジクロベンチアゾクス……………2.0%
容 量：1kg入、9kg入、18kg入

殺虫剤分類	28
殺菌剤分類	P8



◎いもちに強い稲にする新成分「ディザルタ[®]」配合！

- ・2つの作用点で、いもちに強い稲にします。
- ・作用するスピードが速いので、より安定して稲をいもち病から守ります。
- ・長期間効果が持続するタイプのいもち病用成分です。
- ・FRACの分類上、「グループP8」に属する初めての化合物です。

※一般名ジクロベンチアゾクス

◎播種前～移植当日まで、幅広いタイミングで使える！

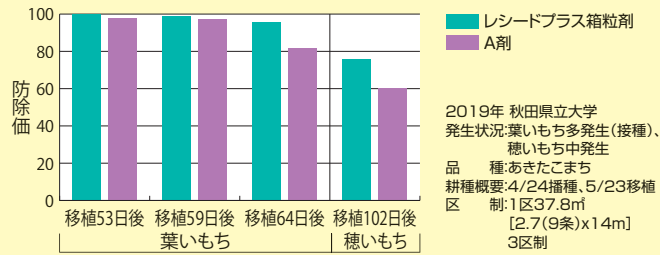
- ・播種前(床土混和・覆土混和)、播種時(覆土前散布)から移植前まで。
- ・作業スケジュールに合わせたタイミングでお使いいただけます。

◎初期害虫、チョウ目害虫に加え、イナゴ類にも効く！

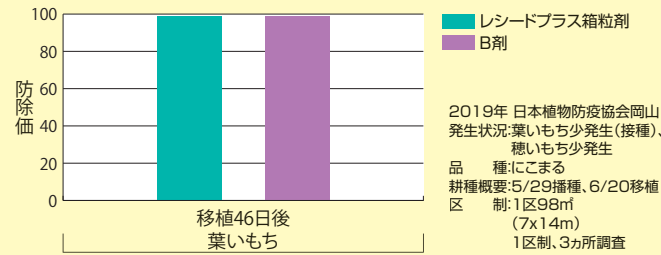
- ・新しい殺虫成分「テトラニプロール」を配合しています。

レシードプラスは「いもち病」により強い、次世代の箱処理剤です。

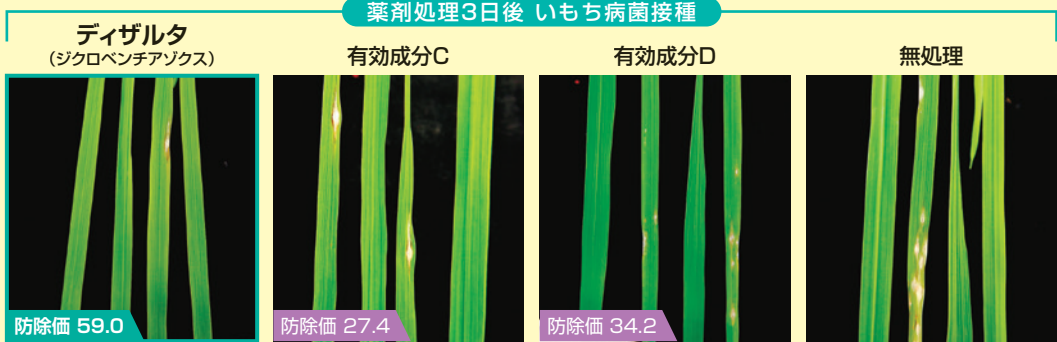
■ いもち病：播種前床土混和



■ いもち病：移植当日処理



■ 有効成分「ディザルタ」の働きで、いもち病への効果がより安定しています。



2021年 日産化学(株)生物科学研究所(社内試験)
供試作物(品種):イネ(日本晴)
供試薬剤:10%簡易水和剤にて供試。所定濃度に調整し、セル苗に灌注処理
試験規模:1/10000aポット 3連制
処理方法:移植時処理
接種時期:移植3日後にいもち病菌胞子を噴霧接種
試験方法:イネいもち病菌胞子を7個/150倍視野の濃度に調整し、マスコトスプレーを用いてイネ体に噴霧損取。20℃・湿度100%で2日間管理した後、所内温室(20℃設定)にて管理。
調査方法:ポット当たりの病斑数と茎数から茎当たりの病斑数を求め、無処理との比較から防除率を算出した。2回試験を実施し、平均値で表示。

■ 適用病害虫と使用方法

本剤及び、それぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数制限を示す。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数 [#]	使用方法
稲 (箱育苗)	イネツトムシ、イネドロオイムシ イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ、フタオビコヤガ イナゴ類、いもち病 白葉枯病、内穎褐変病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌 約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	本剤…………… 1回 テトラニプロール剤…………… 1回 ジクロベンチアゾクス剤 …… 3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	育苗箱の床土又は 覆土に均一に混和する。
	もみ枯細菌病	高密度には種する場合は 1kg/10a[育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌 約5ℓ) 1箱当り50～100g]	は種時 (覆土前)～ 移植当日		育苗箱の苗の上から 均一に散布する。
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌 約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前)		
稲	イネミズゾウムシ いもち病	1kg/10a	移植時		側条施用

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2024年7月現在の登録内容に基づいています。